

平成15年12月25日(木)

- 開 会 9時57分
- 教育委員会 9時59分
- 報告事項説明 9時59分

- ・ 文書管理に係る事故の発生について
- ・ 砥堀小学校への酒気帯び男性の侵入について
- ・ 職員の不祥事について

- 質 問 10時20分

問 文書管理に関連して、個人に関わる書類やプライバシーに関する資料は現状ではどのように保管しているのか。

答 職員室の後ろに個人の鍵のかかるロッカーが並んでおり、通知表も含めた重要な書類や人目に触れてはいけない資料については、通常は其中で保管している。

問 おそらく教師の個人用ロッカーとして使用されていると思う。個人情報が入った資料と普通の資料が混在して紛失につながっているのではないか。個人情報の入った資料については、専用の保管庫を設置して其中で保管するべきではないか。

答 どういう保管の仕方がよいのか今後検討したい。

問 担任が紛失したことに気付いたのが10月20日で、校長に報告があったのが12月2日である。その間、おそらく当事者は必死になって探していたと思うが、周りの同僚や教頭が何かあったことに気付くのではないか。教師同士の連携がよくないのではないか。

答 盗まれることは考えられないと思われる状況の中でどこかにあると思い一生懸命探した。当事者は周囲にわからないように土、日に来たり、放課後遅くに探していたようである。結果的に気付くことができなかった。

問 校長に報告があった12月2日から教育委員会への連絡があった12月8日まで日数がかかっている。教育委員会と各学校との連絡についても考えていく必要があるのではないか。

答 校長もどこかに必ずあると思い、全職員のロッカー、机を探したがないと判断し、教育委員会に報告した。探すのはよいが、報告はすぐにするようにと指導した。

問 学校の廃棄書類の流れはどのようになっているのか。

答 普通のごみ箱とは別に大きなごみ袋に不要書類を入れて封をして職員室のごみを置く場所に置いた。その後焼却される。しかし、重要な書類については、シュレッダーにかけたりする。今回は不要書類と混じっているので、そういう経路で出ている。

問 盗難にあうというのはまずないと言ったが、それは断言すべきではないと思うが。考えにくいと言ったのである。

問 子供たちの安全の確保について、原点にかえって登下校も含めて考えなければならぬと考えるがどうか。

答 原点に戻ってマニュアルの見直し等を行いたい。学校安全対策検討委員会の中でもう一度原点に戻って基本的に見直したい。現在あるマニュアルが実際に使えなかったことを重視して、実際に起こることを想定した実地訓練も取り入れながら検討していきたい。

問 マニュアルとは具体的にはどのようなものなのか。

答 県の教育委員会から出ているマニュアルをもとに各学校が実態に則したマニュアルを作成している。マニュアルでは最初の対応、複数で対応するといったことが示されている。管理職が相手が相当酒に酔っていると判断して110番したものと思う。職員室には通報装置もある。教師の役割分担についても再確認する必要がある。この学校もマニュアルを作成し提出していたが、再度見直すように指導している。

問 不審者と一般の来校者との区別はどのように行うのか。

答 先日の校長会でも徹底するように話をしたが、来てもらった時には名札を着用するとか、「こういう者です」と名乗ってもらうようにしていきたい。不審者の識別は非常に難しく、不審者扱いしてもめたこともある。名札の着用や受付名簿への記載等をやっていききたい。それと来訪者へのあいさつや声掛けをして安全を守ることを普段から指導している。今回はすれ違った人はいなかったようである。

問 私が過去に学校を訪問しても、職員室へ行くまでにすれ違う教師から声を掛けられたことは一度もない。実際そういう指導を徹底していなかったのではないか。

答 先日の校長会でも指導課長がそういうことが絶対にならないように話をした。

問 他都市で警備員の配置を決めたところがあるが、姫路市では配置する考えはあるのか。

答 校長室まで酒気を帯びた者が入ってきた事実は深く受け止めなければならない。本市では現在出入口を一カ所に絞り、原則として他は施錠するように指導している。その一カ所の出入口からどういった形で中に入れるかが今後の一番の課題になると認識している。どういった形が一番良いのかということについて、学校安全対策検討委員会の中で今後検討していきたい。

問 教師に来訪者に声を掛ける余裕はあるのか。

答 教師は非常に忙しいが、すれ違った人にあいさつや声を掛けるぐらいはできると思う。もし今後そういうことがあれば、教えていただきたい。

要 望 何よりも優先して早急に対策を講じてもらいたい。

問 酒気を帯びた男性が入ってきた原因は確認しているのか。

答 プライバシーの問題があるので、こちらで把握している範囲の話になる。男性は以前から酒癖が悪いと聞いている。当日の朝も夫婦喧嘩めいたことをしてから、学校に奥さんが来た。朝の背景があって、この日の事件につながったのではないかと考えている。

要 望 ビデオカメラ付きのインターホンの設置を全小中学校にしてもらいたい。

答 完全に施錠するというのも問題がある。日々の多くの来校者や土日、休日の学校開放や夜間開放、学童保育の問題もある。そういったことや防犯器具の活用も含めて、どういった対応ができるかについて早急に検討し、一番良い方法をとりたい。

問 今回の3件について、それぞれ処分はどうか。

答 通知表の紛失の件については、事情聴取を行い県の教育委員会に報告している。処分自体は県の教育委員会が判断して行う。

外国人の女性講師については、公務員ではないので処分のしようがない。

職員の万引きの件については、現在釈放されているが警察の方で年明けにもう一度事情聴取をすると聞いている。起訴、不起訴もまだ決定していないので、そういう経緯も含めて教育委員会としてどういう処分をするかを今後決定する。

問 花田中学校の教師の処分は市の教育委員会としてはできず、県の教育委員会の処分を待つということか。

答 県費負担教職員の任命権は県の教育委員会なので、市の教育委員会としては事実を正確に調べて県に説明する。

問 外国人の女性講師について、これだけ迷惑をかけて子供や親にも不安な思いをさせているのに、姫路市が何ら処分をすることができないというのは納得できないがどうか。

答 国際教育という観点でボランティアに近い形で民間人に来てもらった。年間通して常時来てもらっている講師とは異なる。この人に直接罰を加えることはできない。今後、この講師に他の学校も含めて来年も来てもらうということはまったく考えていない。

問 外国人女性講師にお金を払っているのは誰なのか。

- 答 学校が出している。
- 要 望 子供や親は心配しているので、防犯カメラの設置や学校の出入りの際の対応について検討し、きちっとした対応をしてもらいたい。
- 問 今年是非常に不祥事が多いと感じるが、毎年こんなに不祥事が起きるのか。
- 答 今年になってからたくさん発生しているのは事実である。毎年多いわけではない。結果から判断して、事前対策や早期対策を講じていけば解決できたであろう問題があったことも事実である。今後、事案に対する早期の取り組みに努めていきたい。
- 問 トップの姿勢で部下は変わる。市長が代わってから不祥事がたくさん起きているということなら、市長にも気を付けてもらいたい。職員の士気が低下しているのではないか。組織として緊張感を持ってもらいたいと考えるが、どう考えているのか。
- 答 指摘のとおりで、私自身の気の緩みがあるのかもしれない。校長には常にやる気をもって職務に取り組んでほしいと言っている。そういった中でこういう事が起きているので、もう一度組織そのものを引き締めていかなければならないと考えている。
- 問 文書管理の問題について、発覚してからの日数がかかなりあっている。各学校からの報告義務や相談体制はどうなっているのか。
- 答 校長や教頭に対しては常に報告、連絡、相談するように言っている。校長にはすぐに報告するよう常に厳しく言っている。こういったことが起きた場合に最初から最後まで時系列で記録するよう指導していきたい。
- 要 望 人間関係の希薄さを感じるので、人間関係の再構築という意味で研修、教育をやってもらいたい。
- 問 各学校と警察を結んだホットラインや非常時に鳴らす非常ベルの使用事例はどれくらいあるのか。
- 答 各校園と警察とのホットラインは完備している。これは学校でベルを押せば警察へすぐ連絡が入るシステムである。火災報知機は学校内の緊急通報手段の一つとしていざという時に活用する。今までに緊急事態にそれらを使用したことはない。
- 問 学童保育園にホットラインを設置することは考えていないのか。
- 答 現段階ではホットラインはついていない。その方向で要望はしている。できるだけそういった形で進めるように検討していきたい。
- 委員長 教育委員会で打ち出した対策が現場の末端まで届くようにし、その対策が生かされるようにしてもらいたい。その結果、子供たちの安全確保ができるようにしてもらいたい。
- 終 了 11時13分
- 閉 会 11時13分